

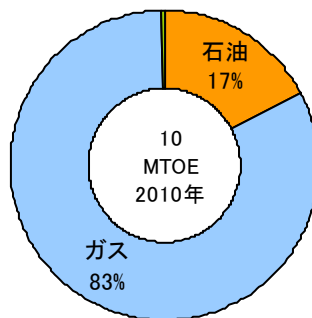
## 4-8 バーレーン

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情 (2010年)

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 10.0 百万 TOE (日本の 2.0%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 7.75 TOE/人 (同 215%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 181% (純輸出国)
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 23.62 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (同 2.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 18.71 CO<sub>2</sub> 換算 ton (同 2.1 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 NA、天然ガス 26.8 年

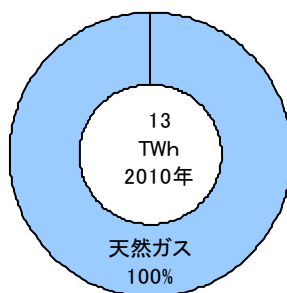
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Bahrain

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Bahrain

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- National Oil and Gas Authority (NOGA: 国家石油・ガス庁) が石油とガス両セクターの全責任を担っている。NOGA の議長は現在 Mirza 石油ガス大臣が務めている。石油とガスの統括会社が 10 億 BD (Bahrain Dinar) の資本で設立されているが、その傘下に以下 5 つの会社がある。

➤ Bahrain Petroleum Company (BAPCO)	: 100% 国営
➤ Bahrain Natural Gas Company (BANAGAS)	: 75% 国が保有
➤ Banagas Project Expansion Company	: 100% 国営
➤ Bahrain Aviation Fuelling Company (BAFCO)	: 60% 国が保有
➤ Gulf Petrochemical Industries Company (GPIC)	: 33% 国が保有

### (2) 基本政策

- 自国のエネルギー資源は限られているので、サウジアラビアとの関係を保持して原油供給 (Saudi Aramoco 操業の Abu Safah 原油) を受けながら、カタール等からのガスの輸入も視野に入れて将来計画を練っている。金融立国を目指すバーレーンにとって世界金融危機によるダメージは大きく、GCC 諸国の中でもドバイの金融業界との競争もあり、厳しい環境に置かれている。

### (3) 最近の動向

- 2009 年 2 月 R/DShell はバーレーンとの間で、同国に対するガス輸入枠組み作りを共同で実施してゆくことで合意した。R/DShell は併せてバーレーン国内でのガス開発についてもスタディを行うことになっている。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2011 年のバーレーンから日本への輸出総額は 573 億円で、その太宗は石油製品の日本への輸出であり、石油 (ナフサ) 106.4 万 k1 総額で 549 億円となっており、その他は食料品が 4 億円となっている。他方、日本からバーレーンへの輸出総額は 373 億円となっている。

## 2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	10.0	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	7.75	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.55	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	181	%
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	23.62	百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	18.71	CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	石炭	0 %
		石油	17.0 %
		ガス	83.0 %
		原子力	0 %
		水力	0 %
		再生可能エネルギー等	0 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	0	%
(9)	石油の輸入依存度	0	%
(10)	輸入原油の中東依存度	—	%
(11)	原油輸入先	第1位	—
		第2位	—
		第3位	—

(出所) (1)～(4) および (7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition.,

(5)～(6) は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition